

広島大学短期交換留学プログラム 派遣留学報告書

HUSA (Hiroshima University Study Abroad) Program Report

記入日/Date 2025年8月9日(YYYY/MM/DD)	
本学での所属学部・研究科 School/Graduate School at HU	総合科学部 総合科学科 学部/研究科 School/Graduate School 2 年次(Year) (留学開始時点(When Started))
派遣プログラム Name of Program	☒ HUSA ☐ USAC
留学先大学 Host University	グラーツ大学 (国名/Country : オーストリア)
所属学部・学科等名 School/Graduate School at Host	Law
在籍身分 Status at Host University	Exchange Student (ex. Exchange Student, Special Auditing Student)
留学期間 Period of Program	2024年 8月 25日 ~ 2025年 7月 18日 (YYYY/MM/DD) (YYYY/MM/DD)

1. 留学するまで / Preparation for the Program	
留学への志望動機・ 派遣先大学を希望した理由 Purpose of Study / Reason of Host Choice	海外に住んでみたいという思いや異文化を感じたり異なる価値観に触れたりしたいという思いがあったため留学したいと考えていた。クラシック音楽が好きでドイツ語圏に興味があったこと、治安が良いことがオーストリアに決めた主な理由。
留学準備を始めた時期 (応募する 何か月前ですか?) Commencement of Preparation for Application	一年前
事前準備について(どのような準備 をしたか、しておけばよかった か) Preparation Completed Prior to Study Abroad	英語の勉強、ドイツ語の勉強、滞在許可をもらうための手続き

2. 渡航について / Visa and Flight Information	
ビザについて Visa	ビザの種類 / Visa Type : Residence permit(滞在許可) ビザ申請先 / Location of Visa Application : Government offices of the Province of Styria (Department 3 – Administrative and internal affairs, Office for Residence) 提出書類 / Required Documents : 申請用紙 パスポートのコピー 戸籍抄本 : アポステイーユをつけて公認のドイツ語翻訳者に翻訳してもらう。 現地の住居証明 : 現地に着いて三日以内に申請しに行かないといけない。 在学許可証 : 大学からもらえる。 経済的証明書 : 奨学金の証明など。ドイツ語に翻訳してもらう。 ÖGK の健康保険 : オーストリアの健康保険に入らないといけない。 無犯罪証明書 : 日本で県警にもらいに行きアポステイーユをつける。 手続きに要した日数 / Duration of Visa Application Process : 二週間程度

その他必要な事前手続き Other Required Procedures	住居探し		
出国年月日/ Date of Departure	2024 年 8 月 25 日 (YYYY /MM/ DD)		
経路（往路）/ Route (Outward)	関西国際空港→台湾桃園国際空港→ウィーン空港→グラーツ空港		
現地での出迎え Pick-up Service	☐ 有/Yes（大学関係者/Univ. Staff ・ その他/Others） ☒ 無/No		
到着後オリエンテーションの有無・期間・内容 Orientation, Period, Contents	☒ 有/Yes ☐ 無/No	有の場合 期間/Period : 2024.09.04 - 2024.09.20 (If Yes) 内容/ Indicate Content Covered during Orientation 滞在許可や保険の案内、履修登録や大学の案内など	
帰国年月日 / Date of Return	2025 年 7 月 18 日 (YYYY /MM/ DD)		
経路（復路） / Route (Return)	ウィーン空港→ドーハ国際空港→関西国際空港		

3. 留学費用について / Expenses

支出額 / Expenses	総額 Total Amount		1718000	円/yen
	内訳 Details	渡航費（往復）/ Flight Ticket (Round Trip)	300000	円/yen
		ビザ申請手数料/ Visa Application Charge	17000	円/yen
		予防接種費用 / Immunization Charge		円/yen
		保険料 / Travel Insurance	106000	円/yen
		教材費（授業料以外の学費） / Learning Material (Extra Tuition Fee)		円/yen
		宿舍費（住居費）/ Accommodation Fee	80000/月	円/yen
		光熱費 / Utility Cost		円/yen
		食費 / Meal Cost	30000/月	円/yen
		通信費（インターネット・携帯）/ Internet, Phone	11000	円/yen
		交通費（宿舍～大学間） / Transportation (Accommodation ~ Univ, Campus)	64000	円/yen
		交際費 / Social Expenses		円/yen
		その他 / Others（健康保険 費）	12000/月	円/yen
		（ 費）		円/yen
		（ 費）		円/yen

4. 授業・修学について / Courses and Study

授業の概要について（カリキュラム、プログラム、履修した科目、時間数、履修形態等）/ Brief Description of Courses (Curriculum, Program, Registered Courses, Study Hours, Course Style)	学部に関係なく授業を履修することができたので、法学部の授業と社会学部の授業を主に履修していた。英語で行われる授業を主に履修していたが、他にスポーツの授業やドイツ語の授業も履修した。先生が講義するだけの授業、ディスカッション形式の授業、テストがある授業、プレゼンをする授業、など様々な形態の授業があった。
単位互換希望の有無 / Credit Transfer from Host to Home University	☐ 有/Yes ☒ 無/No

授業・勉強についてのアドバイス（留学前の履修，留学中，単位取得等） / Advice for Class and Study (Before and During Study Abroad)	現地の学生はテスト期間にだけ勉強するというよりは日ごろから予習・復習をしている印象を受けたので、日ごろから予習・復習はする方がいい。テスト前は大学の図書館で席を見つけられないこともあるので注意。
日本と異なる授業形態などにおける困難や挑戦（ティーチングスタイル・先生と学生の関係性など） / Difficulties and Challenges Faced in Classes Different from Japan (Teaching Style, Relationship with Professors/Lecturers)	授業中に発言する時などに手をパーの状態であげてはいけない。1の指をして挙げる。

5. 生活等について / Lifestyle			
(1) 留学先の住居について / Accommodation			
住居の種類 Type of Accommodation	☐ 大学の寮 / University Dormitory ☐ アパート / Apartment ☒ その他 / Others (学生寮)		
住居の広さ Size of the Room	約/approximately 12 m ²	同居人の有無 Roommate(s)?	☐ 有 / Yes (人/People) ☒ 無 / No
住居に附属する設備 Facilities in Accommodation	☒ 電気/ Electricity ☒ ガス/ Gas ☒ 水道/ Water ☒ 給湯/ Hot Water ☒ シャワー/ Shower ☒ 風呂/ Bathtub ☒ 水洗便所/ Flushable Toilet ☒ 暖房/ Heating ☐ 冷房/ Cooling ☒ 台所/ Kitchen ☐ 食堂/ Dining Room ☒ 固定電話/ Land-Line Phone ☒ インターネット/ Internet ☐ その他/ Others ()		
住居費 Accommodation Fee	1ヶ月当たり/ per month	(現地通貨/ local currency)	約/ approximately 80000 円/yen
留学先での住居全般に関するアドバイス Accommodation Advice	早めに申し込まないと大学近くの寮は満員になってしまう。私は留学の4, 5か月前に寮の申し込みをしたので大学近くの寮の一人部屋に住むことができた。		
(2) 医療について / Medical Care			
保険の加入先 Insurance (Who Designated)	☒ 本学指定の保険 / Hiroshima University ☐ 留学先大学指定の保険 / Host University ☒ その他 / Others (ÖGK(滞在許可を得るため))		
保険の補償内容 Insurance Coverage	補償額 / Coverage 死亡 / Death 円 / yen, 入院1日 / per day of Hospitalization 円 / yen その他 / Others ()		
留学前後での予防接種の必要の有無 Immunization Requirement	☐ 有 / Yes (種類 / Acquired Immunizations : , 医療機関名 / Location of Immunization :) ☒ 無 / No		
留学先国の医療事情（日本と比較して） Difference in Medical Service (Compared to Japan)	Hausarzt という種類の病院に最初行き、その後必要に応じてより専門的な知識が必要とされる病院に紹介してもらうスタイルが普通。病院は予約がなかなか取れない。風邪などの軽い病気は病院には行かずハーブティーを飲んで直すのが主流らしい。		

留学先での健康管理、衛生面について特に注意すべきこと Healthcare and Hygiene	ヨーロッパのトイレはお金がかかることが多く、現金でしか対応していないことも多いので注意。 水道水は飲める。
(3) 危険を感じた地域、状況、安全管理において注意したこと / Dangerous Situations and Locations Encountered, Possible Advice for Risk Management	
比較的グラーツは安全だが、それでも夜は一人で出歩かないようにしていた。	
(4) 食生活についてのアドバイス / Food – Related Advice	
果物は日本と比べて安いのでよく買っていた。肉が高いのでタンパク質は卵や乳製品、魚缶からとるようにしていた。	
(5) 気候・服装についてのアドバイス / Advice on Local Climate and Clothing	
1日で寒暖差があり、夏でも夜は寒いこともあるので注意。	
(6) 学内外の施設・設備環境について（インターネット環境含む） / Available Resources (Library, Cafeteria, Campus Wi-Fi, etc.)	
私の寮にはWi-Fiがなく、Wi-Fiルーターを買うことになった。大学はどこでもWi-Fiがつながる。冷房がないことが多い。	
(7) 現地学生や地域との交流について（どのような、機会・きっかけがありましたか？） / Communication with Local Students and People (Available Opportunities?)	
留学生などが参加するイベントなどに積極的に参加すると留学生とは友達になれる。また、正規の授業が始まる前に行われるドイツ語の授業でも友達が作れる。	
(8) 習慣やマナーの違いによる対人関係等、注意すべきこと / Care and Attention regarding Customs and Manners	
ビーガンやベジタリアンの人が多いので、一緒に食べに行ったりお菓子を渡したりするときは注意。	
(9) 日本から持っていくべきもの、持っていくべきでないもの / What Should You Bring? What Should You NOT Bring?	
カップ麺やインスタントのみそ汁、サランラップは持っていくべきだと思う。気候の違いで風邪をひきやすいので風邪薬も持っていくべき。証明写真も必要になることがあった。(就職活動関連のオンラインで面接をする予定なら、上半身のスーツも必要かもしれない。)	
(10) その他生活等に関して参考となる情報・アドバイス / Other Useful Information and Advice about Life Abroad	
日曜日はほぼすべての店が閉まるので計画的に買い物をするように。	

6. 帰国後の進路について / Your Career After Study Abroad

卒業予定年月 Expected Graduation Month and Year	2027 年 / year 3 月 / month (当初の卒業予定年月 / Expected Month and Year before Studying Abroad 2027 年 / year 3 月 / month)
卒業が遅れる見込みの場合、その理由 Reason for Extension of Graduation Month and Year?	☐ 4年次に留学したため / Participation in HUSA during 4th Year ☐ 単位不足のため / Amount of Credits ☐ 新卒で卒業するため / In order to graduate as a “new” graduate ☐ その他 / Others (具体的に / Specific reason:)
現在の状況および今後の 予定・進路等 Current Situation, Plan and Career	
就職活動や留学前の単位 取得、教育実習等について の工夫 Pre-arrangement by yourself for your future job hunting, acquisition of credits of required courses and practicum, etc.	集中講義を履修するなど留学前になるべく多くの単位を取るようにした。就職の面では留學中もオンラインで参加できそうな就活関係のイベントに参加したり、オンラインの1 day インターンシップなどに参加したりした。

7. 留学準備, 留学中に役立った書籍, ウェブサイト等
/ Useful Books and Website for Study and Life Abroad

書籍, サイト名 Name of Book or Website	詳細 (出版社, URL 等) Details (Publisher, URL etc.)	コメント Comments

8. 後輩へのメッセージ / Message for Outgoing Students who Desire to Study Abroad

グラーツには日本人は少なかったがその分、日本とは違う生活ができ、学びが多いと思う。また、グラーツはそこまで大きい町ではないが交通網も発達しており、英語が話せる人が多く、治安もいいため海外初心者にもおすすめしたい。

9. 自由記述（日本語・1,200 字程度） / Feedback (English about 600 words)

留学は、私にとって非常に貴重な経験となった。私は以前から「留学してみたい」「海外で生活してみたい」という思いを持っており、留学は長年の夢の一つで、日本とは異なる常識や価値観の中で生活することに強い興味があり、その経験を楽しみにしていた。実際に留学してみると、思い描いていた理想と現実の間には確かにギャップもあったが、それ以上に新しい価値観や文化に触れることで、良い意味でのカルチャーショックを受け、知らなかった世界を体験することができた。長年の夢を叶えられたこと、そしてホームシックになることもなく充実した時間を過ごせたことは、今後の人生にとって大きな財産になると感じている。

- ① 留学期間中、最も印象に残った体験は、授業の一環として国連ウィーン事務所を訪問したことだ。私が履修していた授業の中に、この訪問が組み込まれており実際に国連職員の方々とお話ししたり、ウィーンにある国連の各機関について説明を受けたりする機会があった。私はもともと国連に対して漠然とした興味を持っていたためその授業を履修したが、他の学生の中には将来国連で働くことを目指している学生も何人かいて、彼らが積極的に職員の方に質問し意欲的に対話している姿に圧倒された。また、実際に国際機関の施設の中に入り、さまざまな国籍の人々が対等な立場で話し合い、協力し合っている様子を目の当たりにし、異文化共生やこれからの国際社会の在り方について深く考えさせられた。
- ② 留学前と比べて、いくつかの面で自分の成長を実感している。第一に、英語力の向上だ。留学当初は、間違ふことへの不安から積極的に話すことができなかったが、英語を使わなければ生活できない環境に身を置いたことで、「たとえ文法的に間違っているでも、最終的に意図が伝われば良い」という考え方に変わっていった。その結果英語を使うことへの抵抗が薄れ、話す機会が増えるにつれて徐々にスムーズに自分の考えを伝えられるようになった。第二に、他人との関わり方においても成長があった。良い意味で「人の目を気にしすぎない」ようになった一方で、「多様な価値観や背景を持つ他者への配慮」もできるようになったと感じている。一見すると矛盾しているように思えるかもしれないが、様々な人種や文化、ライフスタイルを持つ人々と接する中で、「他人と違っていても気にしない」という意識が育つと同時に、例えばベジタリアンや宗教的配慮が必要な人々など、日本ではあまり接する機会がなかった人々たちへの理解や思いやりも深まった。
- ③ 今回の留学を通して、キャリアについても日本国内に限定せず、海外での可能性も視野に入れて考えるようになった。現地で生活や学びを通じて得た多様な価値観や柔軟な考え方は、今後さまざまなバックグラウンドを持つ人々と協働する場面で役立つと感じている。

